



[3月26日から、南砺市立図書館が大きく変わります！]

【変更点】

- 1 市立図書館と学校図書館との共通システム化
- 2 本のICシステム化
- 3 市内各施設で本の受取り・返却 **なんと！ぐるっと巡回本サービス**
- 4 自分の学びを振り返る **すべての市民に図書館を**

■内容説明

1 市立図書館と学校図書館との共通システム化

- 【学校】 ○GIGA スクール構想による一人1台タブレットを使用し、**市のホームページから市立図書館の本の予約、学校で貸出・返却**
○**読書履歴・記録**を確認するための**読書シール**の発行
(読書ノートに読書シールを貼ることで、読書の励みに繋がる)

2 本のICシステム化

- 【市立図書館】 ○**セルフ貸出機、返却機、予約棚**の設置
(非接触型・利用者のプライバシーの保護)
○**セキュリティゲート**設置により、本の無断持ち出し防止
○**読書履歴・記録**をマイページにより**デジタル**で確認
○**図書館ホームページのリニューアル**

3 **なんと！ぐるっと巡回本サービス**（新：図書館からの巡回便を運行）

- ・スマートフォン1つで、本の貸出しが可能
- 地域交流センター※1、学校、南砺市民病院、公立南砺中央病院の入院患者向け**
(※1：現在協力交流センター：8交流センター) 今後、全地域交流センターでの利用を目指す

4 **自分の学びを振り返る すべての市民に図書館を**

- ・生まれてから高齢者まで、すべての市民に「誰一人取り残さない図書館サービス」を提供
- ・一生涯の読書記録を確認し、読書の励みに、

◎ **新システム導入セレモニー**

- 3月26日（火）午前9時30分～ 中央図書館

令和6年3月26日（火）～

デジタル田園都市国家構想交付金を活用し

南砺市立図書館が



大きく変わります！

1 市立図書館と学校図書館
との共通システム化



2 本のICシステム化



3 なんと！ぐるっと巡回本
サービス



4 すべての市民に図書館を



共通システム化で図書館と学校図書館との壁をなくします

- ◎市立図書館と学校図書館の共通システム化
- ◎図書館カード、資料バーコード(ICタグ)の共通化
- ◎セルフ貸出機、デジタル読書履歴・読書シール記録
- ◎市内施設へ巡回 (本の運搬)
- ◎南砺市型学校司書モデル事業の充実(学校)
- ◎保育園等、児童館へのなんとみらい文庫の貸し出し
- ◎地域づくり協議会での本の受け取り・返却
- ◎病院での本の受け取り・返却



すべての市民に
読書を推進

保育園・認定こども園

なんとみらい文庫

本の受け取り・返却

31地域づくり協議会
病院

交流センター

児童館

福光中部小

井波小

井波図書館

城端図書館

福光南部小

井波中

LIBRARY

福光東部小

福野小

中央図書館

城端小

福野中

福野図書館

平図書館

城端中



福光中

利賀学舎

共通システム化

吉江中

南砺つばき学舎

南砺市型学校司書モデル事業

平中

上平小

図書館デジタル化推進事業

市立図書館と学校図書館の共通システム化



第4次南砺市子ども読書活動推進計画

～子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものである～

●市立図書館と学校図書館の共通システム化

- 現状
- ・市立図書館の図書館システムは共通、ネットワーク化されている
 - ・学校図書館は、16校中10校でシステム化(システムは共通していない)、ネットワーク化されていない
 - ・市立図書館と学校図書館は、ネットワーク化されていない



今後

- ・学校図書館のネットワーク化(共通システム化)

- ・市立図書館と学校図書館の共通システム化

- ・図書カード、資料バーコード(ICタグ)を共通化→市立図書館に「自動貸出機」導入(コロナ対策)

- ・デジタルで読書履歴・記録確認

- ・学校図書館に読書シール(ノートに添付)

- ・読書量や履歴が確認でき、励みになる
- ・知識が蓄えられる



●利用者側 ネットワーク化メリット

- ・学校図書館で市立図書館の本を借りることができる→読みたい本がたくさんある
 - ・本に興味・関心を持つことができる→将来的に、読書習慣が身に付く
 - ・ネットワークを利用し、蔵書の共有や相互貸借、レファレンスデータの共有が可能→授業等に必要資料の巡回貸し出し、タブレットによる予約の促進
- 図書館が身近なものになる

GIGAスクール構想



★南砺市型学校司書モデル事業の拡充

●南砺市型学校司書モデル事業

(R3～吉江中、R4:城端・井波・福野中、R5:城端・井波・福野小)

- ・学校図書館の利用が増加
- ・市立図書館の利用が増加
- ・司書教諭の負担を軽減
- ・市立図書館司書と学校図書館司書の一元化(人件費削減)
- ・学校図書館の環境整備



★学校図書館と市立図書館の連携が強化される

●連携 メリット

- ・統計データの出力(貸出データ、分類ごと・学年ごとの読書傾向等の把握)→効率的な予算運用につながる
- ・図書の運搬が可能(学校で市立図書館の本の貸出・返却が可能になる)
- ・児童・生徒数に応じた授業に必要な図書の団体貸出が可能になる
- ・司書教諭、学校司書、図書館司書等、研修会への参加を促進できる
- ・学校間の情報共有が可能となる



R6 なんと!ぐるっと巡回本サービス

市内どこでも、本の貸出・返却ができます!



・学校・・・図書館を利用しやすい環境を創出する。図書館と本が身近になる。
→児童・生徒、先生、学校司書や図書館司書の交流が深まる。

・保育園等、児童館(なんとみらい文庫)・・・なんとみらい文庫の絵本を保育士が読み聞かせしたり、家庭へ持ち帰ったりして、家族で読み聞かせを楽しむことができる。→保護者だけでなく、家族全体の交流が深まる。

・交流センター、病院等・・・予約することで、最寄りの交流センターで本の受け取り・返却ができる。また、入院患者も病院で受け取り・返却することができる。→職員との交流が深まる。

なんとみらい文庫

人を介して
交流が深まる。

一流の田舎



自分の学びを振り返る すべての市民に図書館を



妊産婦

☆妊娠期や育児の悩みが和らぐ企画等



0歳

☆図書館利用カード作成

誕生と同時に、図書館利用カードが作成でき、すぐご利用できます！



1歳

なんと！バースデーブック事業

- ・絵本2冊プレゼント
- ・図書館利用カード作成



幼児期

・なんと！みらい文庫

- ・保育園・認定こども園での絵本等の貸し出し
- ・子育て支援センターでの本の貸し出し



小学生

(新)市立図書館と学校図書館との共通システム化

- ・GIGAスクール構想による、一人1台タブレット利用による、本の貸し出し・返却(学校で受取・返却可)



中学生

- ・学校司書モデル事業による、司書の一元化
- ・授業等に必要な資料の団体貸出
- ・授業等での図書館訪問(小学校)
- ・なんと！みらい文庫(児童館)
- ・YAみらい文庫(中学校)



高校生

- ・図書館研修の実施(利用説明、読み聞かせアドバイス等)
- ・市立図書館との連携事業(おはなし会・工作会等)



社会人
一般

◎図書館利用(すべての年齢層において)

- ・閲覧(本・雑誌・新聞・視聴覚資料等)
- ・調べもの(レファレンス)
- ・ホームページからの本の予約
- ・スマートフォンからの貸し出し
- ・(新)病院の入院患者向け 本の受取り・返却
- ・(新)交流センター(31地域づくり協議会)で利用
- ・(新)予約資料の受け取り、返却
- ・団体貸出



高齢者

- ・サロン等での利用
- ・福祉施設等へ団体貸出



施設向け
(団体)

- ・視聴覚ライブラリー(上映会向けDVD)の貸し出し

